

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ことのはプラスー彩りー石垣教室		公表日 令和 7年 4月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・運動スペースと和室スペースがあり、粗大運動と微細運動が実施出来るように工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・ゲートの設置など、児童の安全の為に環境整備がされています。	・今後、利用児童が増えるに伴い、様々な特性に応じた環境の配慮を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・日々の清掃を行い、清潔に保っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3		・部屋の一部を区切るなど、今後個別の部屋作りを検討していききたいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1		・朝・昼・終礼で行っていきいますが、今後、児童が増えた際、児童対応の合間でのようにして行っていかを検討していきしたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		・まだ、児童の受け入れを行っていない為、今後、保護者様の評価をいただきながら、業務改善に繋げていけたらと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・毎日、朝・昼・終礼で情報交換の時間を設けています。	・今後、月1で管理者と職員の個別面談を行い、個別の意見も取り入れながら業務の改善を行っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・必要に応じて外部研修を受講しているのと毎月オンライン研修などを行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・支援プログラムを作成し、契約時に管理者より保護者様へ説明も行われております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・契約時にアセスメントを作成し、今後は1年に1回ペースで更新していく予定です。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	・児童発達支援管理責任者やその他職員との共有の中で、支援の方向性が異ならないように心がけていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・計画の内容を共有出来るように個別でファイリングされており、計画の確認は朝・昼・終礼などで随時行っていく予定です。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		・いろんな特性を持った児童に対して、アセスメントを実施しながら支援に生かしていく予定です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・児童発達支援管理責任者が職員の意見を取り入れながら具体的な支援内容を設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		・職員間で話し合っ実施していく予定です。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・利用日の児童の特性や児童からの要望に合わせて固定化しないよう心がけていきます。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・朝礼、昼礼で活動内容の確認や意見交換、役割分担などを行っていく予定です。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・終礼でその日の振り返りを行い、翌日の朝礼でも前日の共有を行っていく予定です。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		・今後、個別記録の作成を行い、それを元に支援の改善なども行っていく予定です。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	2		・今後、定期的にモニタリングを行い、職員との情報共有と適切な見直しを行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		・今後、就学前に利用していた事業所と情報共有や相互理解を行っていく予定です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		・今後、検討して参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		・今後、地域の他の子供達と交流する機会を設けられるように検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・今後、送迎で保護者様と関わる際に、その日の様子を共有していく予定です。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		・ペアレントトレーニングの実施は未定ですが、ご家族様の参加出来る研修の機会は今後検討していきたいです。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	2	・今後、ご家族様からご要望があれば、都度個別での面談も行っていく予定です。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4		・今後、保護者様との交流会を検討しています。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・意見箱を設置し対応出来る体制は整えています。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・今後、SNSを通じて教室での実際の活動内容などを写真や文字でわかりやすいように発信していきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・利用児童に対しては、どこに何があるか一目でわかるように視覚化や言葉ではなくても伝えられるような工夫を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・今後、地域住民を招待して交流を持てるような取り組みを検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	・マニュアルを職員の見やすい位置におき、いつでも確認出来るように用意してあります。	・今後、発生を想定した訓練を実施していく予定です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2		・今後、非常災害時を想定した訓練などを実施していく予定です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・利用児童の状況を表にまとめて職員間で共有出来るように用意してあります。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・食物アレルギーのある児童が一目でわかるように表にまとめて職員間で共有出来るように用意してあります。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2	・安全計画を作成しており、適宜更新を行い安全管理に努めています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハットがあった場合、全体で共有・確認を行い再発防止に努めて参ります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・定期的に動画研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		・身体拘束が必要な児童はいませんが、今後利用するようであれば必要な知識を全体に周知していきます。	